

まあーるバス実証運行事業実施要領（案）

市街地住民はもとより、周辺地域や離島住民、また観光客の市街地での移動手段として、現行運行ルートの課題や住民要望を踏まえ、利便性の高い運行ルートへの見直しを行うため、実証運行を行い、新ルートについての検証を行う。

1 実証運行ルート

見直しのポイントや円滑な運行等の検証を行うため、新ルートによる実証運行を下記のとおり実施する。

運行の拡充を図るため、パターンダイヤにこだわらない1周1時間超（30分間隔運行⇒40分間隔運行）の運行について検証する。

1 西回り新ルートの実証

往復に係る乗車時間短縮等の利便性を高めるため、単純周回運行を解消する8の字運行ルートの検証

2 東回り新ルートの実証

博物館や萩反射炉等観光客の利便性や平安古東（新市道）経由、上野周回等住民の利便性を図る運行ルートの検証

3 逆回りルートの実証

乗車時間短縮の一つの方法として逆回り運行ルート（西回り）の検証

2 実証運行の実施方法

1 各実証ルートの運行計画

各ルート1日6便（7：00・9：00・11：00・13：00・15：00・17：00各市役所発）、1か月運行

①西回り（9月中旬～）②東回り（10月中旬～）③西回り逆回り（11月中旬～）・・・3ルートを実証運行

2 現行のまあーるバスを運行しながら実証運行を行う

3 実証運行についても1乗車100円とする

3 実証運行の検証

・平日1日、休日1日全便乗込み調査を行い、利用者数、乗降停留所等基礎データの収集及びアンケート調査を実施

・実証運行期間中、毎日の利用者数（運転手調査）

■検証のポイント

1 新ルートの利便性、円滑な運行等

2 1周1時間超の運行の利便性